おかのうえ D.I.O TABLE

できるだけ いろんな人と おしゃべり

レポート vol.07

開催概要
日時： 令和8年9月27日（日）10:00～12:30
場所： 平山台健康・市民支援センター 1階エントランス
主催： 日野市
協力： studio - L







第7回「おかのうえ D.I.O TABLE」が開催され、14名の市民のみなさんが参加されました。第7回では前回・視察のふりかえりのあと、1つ目のワークでは、視察の気づきや感想を共有し、方向性案に活かせることや追加したい視点などを話し合いました。
その後、日野市からの情報共有を挟み、2つ目のワークでは、興味のあるテーマのチームに分かれ、11月のお試し実施に向けて何をするか、ワークシートを活用しながら具体的に話し合いました。このレポートでは当日話し合った内容や様子をお伝えします。

プログラム

- はじめに
- 前回・視察のふりかえり
- ワーク①「視察をふまえて方向性案を検討しよう」
- 日野市からの情報共有
- ワーク②「お試しで何をするか話し合おう」
- 共有
- おわりに

前回・視察のふりかえり

視察について

8月30日（日）に、「おかのうえ D.I.O TABLE」で検討している平山台健康・市民支援センター（※以下、センター）跡地に必要な役割や要素、運営方法などについて、他地域の事例を学びに行く視察として、東村山市にある萩山公園と園内にある交流拠点施設「はぎま」に行きました。



公園内にあるコミュニティガーデン

視察での気づき

- 「日常の親しみ」が、いざという時の防災力につながる
- 「人の見守り」と「関わりしろ」が自由と安心感を生み出す
- 小さな空間でも、工夫次第で多機能な拠点にできる



「はぎま」での視察の様子

ワーク①「視察をふまえて方向性案を検討しよう」

ワーク①では、視察で感じたことや面白かった点などを各テーブル内で共有しながら、センターの跡地活用に活かせそうなこと、方向性案に追加したい要素や視点など意見を出し合いました。
以下に、それぞれのテーブルから出た意見で共通していた項目を紹介します。



センターの跡地活用に活かせそうなこと

- 日常利用と防災機能を組み合わせた設え
- 屋内外がつながる、多機能な空間づくり
- 誰もが利用しやすい環境づくり
- 地域の自然や農を活かした活動やつながり
- 地域の人との交流を大切にした運営

方向性案に追加したい要素や視点

- 集会や地域活動といった地域に必要な機能の確保
- 平山地域に合ったインクルーシブな空間
- 持続可能な管理・運営の仕組みづくり
- 交流を生み出すきっかけとなる機能

日野市からの情報共有

センターの跡地活用の基本方針案策定に向けて、日野市から敷地や法令上の条件、基本方針案で検討する内容などについて説明がありました。

基本方針案で検討する内容

ポイント1

基本方針案では、具体的な建物の規模や整備内容を決めるのではなく、敷地のどのあたりにどのような機能や役割があるとよいかなど、**跡地活用の大きな方向性やゾーニング**を整理していきます。



ゾーニングイメージ（他事例）

敷地・法令上の条件

ポイント2

センターの敷地は日野市と八王子市にまたがっています。八王子市側のグラウンドは市街化調整区域に位置しており、日野市側も用途地域による建築制限があります。こうした**法令上の条件を踏まえた土地利用や施設のあり方**を検討していく必要があります。

平山台の特徴を活かした跡地活用

ポイント3

視察先とは法令や敷地条件が異なるものの、普段は人が集まり、災害時には地域を守る拠点となる広場づくりや、平山台の豊かな自然と静かな環境を活かした憩い・交流の場づくりといった空間の工夫が考えられます。
また、日野市の財政状況も踏まえながら、**地域に必要な機能や役割**を考え、限られた条件の中でどのような跡地活用ができるかを検討していく必要があります。

質疑応答

以下、情報共有後の質疑応答から抜粋したものを紹介します。

Q. 用途地域による制限がある中で、カフェなどの飲食機能を設けることは難しいですか？

センターに以前あったカフェも、建築基準法第 48 条の特例許可によって実現したものです。特例許可を前提とすべきではありませんが、地域のニーズや周辺環境への影響などを踏まえ、必要性を説明することで、実現できる可能性はあります。


日野市
岩﨑さん

Q. 現在の体育館を残したり、避難所としての機能を確保することはできますか？

現在の用途地域による区分では、同じような規模のスポーツ施設のみを整備することは難しい状況です。一方で、施設の規模や用途を工夫し、寝泊まりができる空間や予備的な避難所としての機能を設けることについては、検討の可能性があります。



今回共有した敷地や法令上の条件は、みなさんのやりたいことにブレーキをかけるためのものではなく、実現に向けて必要な条件を知ってもらうためのものです。「あれもできない、これもできない」と考えるのではなく、条件を含めた中で何ができるか、どんな可能性があるのか一緒に考えていきましょう！


日野市
永尾さん

ワーク②「お試しで何をするか話し合おう」

ワーク②では、お試し実施に向けて、前回のワークショップをふまえた 3 つのテーマの中で興味のある、実現したいテーマのチームに分かれ、それぞれどんな取り組みをするのか、何を検証するのかなど具体的に話し合いました。

テーマ① 多世代の交流



お試しプログラム名： おとなもこどももプレイパーク

取り組み内容

・センターのグラウンドを地域に開放し、大人も子どもも、やってみたい遊びや試してみたいことを自由にたのしめるプレイパークを実施する。
＜運営側の持ち込みプログラム＞
①おとなもだるまさんが転んだ（14:00～）②逃走中鬼ごっこ（15:00～）
③ドッジボール（16:00～）④ワンコ同伴ふれあい会（コアタイム 14:00～16:00）
⑤焚き火

取り組みによって期待される効果

・特別なイベントではなく、日常的にグラウンドを使える場所にしていくことを目指す。
・住民が自ら場所を使い、やりたいことを考えて愉しむ力を育てる。
・今回を小さな第一歩として、将来的には月に 1 回程度、定期的にプレイパークを開催できるようにしていく。

取り組みの中で大切にしたいこと

・用意しすぎない、お客さんにしない、小さく始めることを大切にする。
・運営側が何かを提供するのではなく、参加者自身がやりたいことを持ち寄る「自己責任」のあそびを愉しむ。
・参加者が主体的に関わり、自分たちでマナーやルールをつくっていく。
・運営側の負担を最小限に抑え、無理なく継続できる形を目指す。
・最初から多くの人を集めることを目的とせず、まずは実際に場所を使いながら、愉しみ方を少しずつ見つけていく。

方向性案の 5 つの要素との関係・検証したいこと

集まる	・地域住民や多世代が集まる交流機会の創出
支え合う、備える	・焚き火を活用した災害時へのシミュレーション（火おこし）
学ぶ、育てる	・住民自身による場所の使い方やマナーの検討・構築

テーマ② 食を通じた交流

お試しプログラム名： 豊田ビールキッチンカー

取り組み内容

・地元豊田でつくられたビール「TOYODA BEER」の販売

取り組みによって期待される効果

・飲食を介した地域住民の交流機会の創出

取り組みの中で大切にしたいこと

・生産者と地域住民の顔の見える関係性

方向性案の 5 つの要素との関係・検証したいこと

集まる	・平山台地域の飲食店や集う拠点のニーズ検証
遊ぶ、愉しむ	・地域住民同士の交流機会

テーマ② 食を通じた交流

お試しプログラム名： 芋煮会



取り組み内容

・防災用のかまどと大きな鍋をつかって芋煮をつくって参加者と食べる。

取り組みによって期待される効果

・食を介した地域住民同士の交流促進
・災害時への備え、また防災意識の向上

取り組みの中で大切にしたいこと

・日常での地域住民同士の交流から顔なじみになる機会
・災害時の道具に触れることで、いざという時の備えにする。

方向性案の 5 つの要素との関係・検証したいこと

集まる	・食を介した地域住民同士の交流促進
支え合う、備える	・防災機能の必要性の検討

テーマ② 食を通じた交流

お試しプログラム名： 野菜マルシェ

取り組み内容

・地域の農家、家庭菜園で育てた季節野菜の無人販売コーナーを設置し、販売ニーズがあるか検証する。

取り組みによって期待される効果

・販売機会の創出
・地産地消や地域経済循環の促進

取り組みの中で大切にしたいこと

・生産者と地域住民の顔の見える関係性
・農家だけでなく家庭菜園など農業を生業にしていない人も販売できる。

方向性案の 5 つの要素との関係・検証したいこと

集まる	・野菜を販売したい人のニーズ検証
遊ぶ、愉しむ	・地域野菜の購入への地域住民のニーズ検証

テーマ③ 愉しみの共有

お試しプログラム名： 平山の魅力発信スペース

取り組み内容

・平山地域の良いところを互いに紹介できるスペース。写真データを使ってスライドショーを投影したりしてもよい。

取り組みによって期待される効果

・地域の魅力を発信、また改めて住民が知る機会となる。

取り組みの中で大切にしたいこと

・平山の良さを伝えたい（住んでいてとても良い場所だということを知ってほしい）

方向性案の 5 つの要素との関係・検証したいこと

集まる	・地域の拠点としての情報発信機能のニーズ検証

テーマ③ 愉しみの共有

お試しプログラム名： 私の小さな部屋 at 平山台

取り組み内容

・近隣の住民の好きなことや得意なことなどを紹介する展示ボックスを設置。互いの趣味や嗜好を知る機会にする。

取り組みによって期待される効果

・近隣住民同士の交流促進
・住民の交流拠点として、展示・掲示スペースの必要性を検証
・現在のエントランススペースの活用

取り組みの中で大切にしたいこと

・地域の人のゆるい交流の場（そこにいなくてもあとでメッセージをみたり、後日の会話のきっかけになる）
・場は提供し、募集はするが、展示は参加者に任せる。

方向性案の 5 つの要素との関係・検証したいこと

集まる	・楽しみを軸にした地域住民同士の交流促進
支え合う、備える	・互いの趣味や嗜好の共有の場

テーマ③ 愉しみの共有

お試しプログラム名： 活動紹介コーナー



取り組み内容

・センターでの活動を中心に、スポーツや文化芸術など様々なサークル、団体を紹介するコーナー

取り組みによって期待される効果

・地域の市民活動団体の活動発信
・互いの活動を知るきっかけになる。

取り組みの中で大切にしたいこと

・地域の人のゆるい交流の場（そこにいなくてもあとでメッセージをみたり、後日の会話のきっかけになる）
・場は提供し、募集はするが、展示は参加者に任せる。

方向性案の 5 つの要素との関係・検証したいこと

集まる	・市民活動の拠点としての情報発信機能のニーズ検証
学ぶ、育てる	・地域での市民活動の維持、新たな活動の芽の発掘 ・情報を発信することで、今後活動する人が増えるかどうか（地域活動の活発化）

各グループの発表から

企画が具体的になってきましたね！当日に向けて、チームごとに集まったり、オンラインでやり取りしながら、少しずつ内容を具体化していければと思います。
また、「準備から一緒にやってみませんか？」と、地域のみなさんに声をかけていくのもいいかもしれません。興味のあるチームがあれば、ぜひ複数でも参加してください！それぞれのできる形で、愉しみながら準備を進めていきましょう！



studio-L
洪さん